２０２２．１．No.１５８
URL：http//www.hyogo-kg.jp

兵繊技ニュース

― 令和４年　新年のご挨拶 ―

所長　藤田 浩行

新年明けましておめでとうございます。平素は、繊維工業技術支援センターの業務の推進にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

昨年はコロナ禍も２年目ということで新しい生活様式にも慣れつつ、忍耐強く過ごした１年だったのではないでしょうか。個人的にはオンラインでの会議や発表など新しい方式にも少しずつ慣れつつあるように感じます。また、１年延期となった東京オリンピック2020は無観客の中での開催となりましたが、2021年の「今年の漢字」が“金”に象徴されるように、過去最多の金メダル27個獲得と日本中大いに盛り上がました。海外ではロサンゼルス・エンジェルスの大谷翔平が、46本塁打＆100打点＆26盗塁、９勝＆防御率3.18＆156奪三振と、二刀流として驚愕の成績を残し大活躍しました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が取られる中、スポーツ界の明るい話題も多かった年でした。

一方、昨秋新政権が発足し、過去最大の経済対策が打ち出され、景気回復に期待するところではありますが、原油や天然ガスなどエネルギー価格上昇に伴う、電力、生産コスト、原材料価格および物価上昇など不安材料もあります。

播州織産地では、一昨年の大幅な生産数量の減少を少しでも回復すべく、産地企業、行政など一体となって取り組んでいるところです。昨年３月、劇団四季と西脇市が連携協定を締結され、当所も新作ミュージカルの舞台衣装の生地制作に携わることができました。また、複数の服飾系専門学校と共同で演奏用衣裳などの開発や「ビームス」本社における播州織PRの支援も行いました（詳細は以降）。その他、観光庁の事業「～播州織で紡ぐ未来への挑戦～」にて、播州織の魅力発信のお手伝いもさせていただきました。それ以外にも様々な団体や企業と連携して、試織開発を通じた支援を実施しました。

研究開発については、環境負荷低減だけでなく機能性素材として期待されるセルロースナノファイバーの活用や省エネルギーな撥水加工技術の実用化、また、炭素繊維織物によるバネ材料の製品化、さらにパイナップル葉繊維を用いた紡績糸開発と新たにテーマーにも取り組んでいるところです。

今年は、寅（虎）年です。“虎穴に入らずんば虎子を得ず”のとおり、リスクなしで大きな成果は得られません。チャレンジ精神を持って新たな発展へと繋がる年となりますよう職員一同全力を尽くす所存でありますので、本年もどうぞよろしくお願い申しあげます。

＜トピックス＞

【舞台衣裳用の生地を試織しました（劇団四季）】

2022 年 1 月 29 日（土）に、劇団四季の新作ファミリーミュージカル「はじまりの樹の神話」の西脇公演が、西脇市市民交流施設「オリナスホール」にて行われます。その舞台衣裳に使われた生地の一部は、支援センターにて試織しました。

2021 年 3 月、劇団四季と西脇市は連携協定を締結しました。劇団四季が地方自治体と連携協定を行うのは初めてのことです。2015 年に、市制 10 周年を記念して劇団四季のファミリーミュージカルが、旧・西脇市民会館にて行われたのをきっかけに、劇団四季の衣裳担当者が生地マルシェ「播州織産地博覧会（播博：ばんぱく）」を度々訪れるなど、交流が続いていました。

劇団四季は、近年注力しているオリジナル新作ミュージカルの創作において、舞台衣裳デザインのイメージに合う生地探しに要する労力の大きさが、大きな課題となっていました。舞台衣裳用の生地を劇団四季と共同開発することで、播州産地の開発力やブランドイメージの向上に繋がります。このような経緯から、今回の連携協定に至りました。

四季衣裳部担当者と WEB 会議で打ち合わせを重ね、支援センターにて①大柄グラデーション生地、②クレープ調生地、③凹凸表現生地の 3 種類の生地を試織しました。

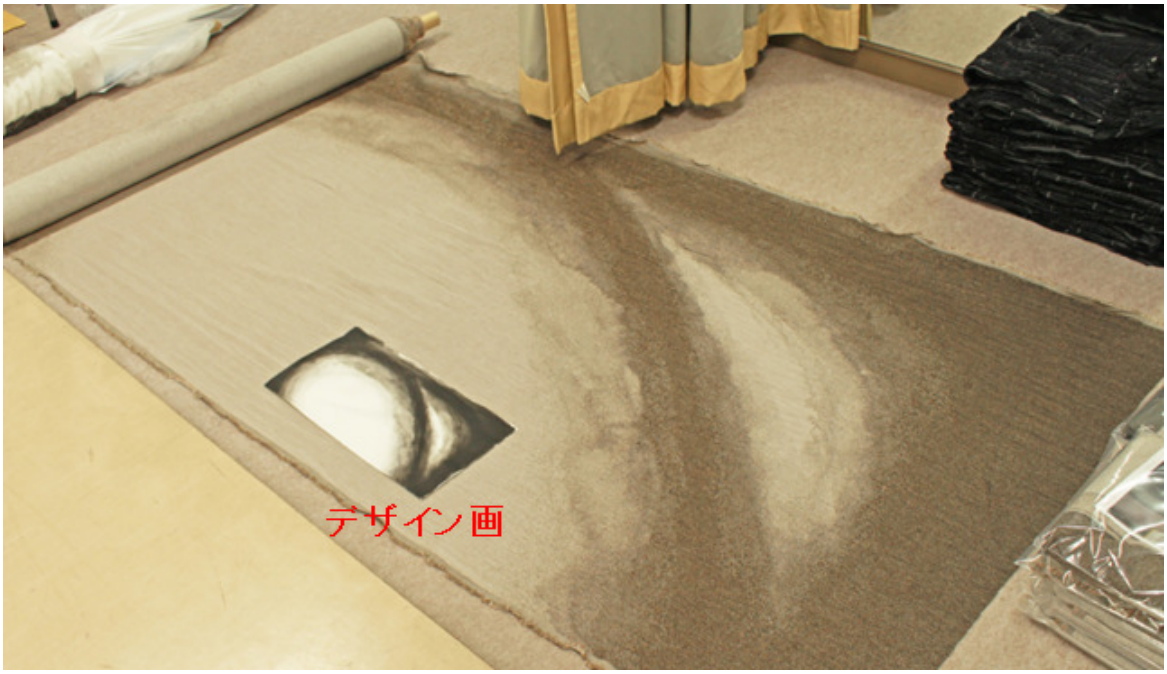


図１　大柄グラデーションの生地（劇団四季 HP より。デザイン画の文字追記）

図１の生地は、水彩絵の具で描かれたデザイン画をもとに、支援センターのジャカード織機で試織しました。経糸の綟割が単色ではなく、黒白 1 本ずつ交互のエンドエンド配置であったためイラスト織にはあまり適さなかったのですが、デザイン画→組織図への変換の際に工夫することで、生地にすることができました。この生地は、劇中で「樹の精霊」の衣裳に使われています（図２）。

今回の「はじまりの樹の神話」で試織した生地が、劇団四季衣裳部内で好評だったこともあり、2022 年 4 月 30 日（土）に開幕（四季劇場「秋」：東京・浜松町）のミュージカル「バケモノの子」の舞台衣裳用生地の共同開発のお話も頂きました。生地は試織・納品済みで、現在は舞台衣裳の作成中です。是非ご観劇ください。

図２　舞台稽古での「樹の精霊」たち（劇団四季 HP より）

【播州織入門講座を開催しました】

2022 年 1 月 11 日（火）・13 日（木）・18 日（火）・20 日（木）に、北はりま職業訓練センター（西脇市平野町）にて播州織入門講座を開講しました。
内容は下記の通りです。

1 月 11 日（火）
- 概要説明（繊維産業・播州織・支援センターについて）　【担当：藤田浩行】
- 繊維材料について（素材ごとの特性・番手・撚糸など）　【担当：東山幸央】

1 月 13 日（木）
- 織物企画について（企画設計・糸量計算・綿割など）　【担当：藤田浩行】
- 染色工程について（染色機・染料・染色処方など）　【担当：新田恭平】

1 月 18 日（火）
- 準備工程について（整経方法・糊付など）　【担当：東山幸央】
- 製織工程について（織機の種類・開口装置・織物組織など）　【担当：東山幸央】

1 月 20 日（木）
- 仕上加工について（毛焼・糊抜・シルケットなど）　【担当：中野恵之】
- 品質評価について（試験方法・染色堅牢度など）　【担当：中野恵之】

【ハンドベル演奏用衣裳の生地を試織しました】

西脇市役所の新設移転に伴い、これまで西脇市民会館が担っていたコンサートホールとしての機能を、市役所に隣接する市民交流施設オリナスホールが担うことになりました。

2021 年 10 月 24 日（日）にオリナスホールの開館記念事業として、「第１回ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト」が開催されました。西脇市を中心に活動しているハンドベル演奏集団「ティンカーベル」が、ウェルカム演奏および審査委員を務めました。

このたび、ティンカーベルの舞台衣裳を播州織の生地で新調するにあたり、大阪文化服装学院にデザインおよび縫製を協力いただき、支援センターとの共同研究として生地の試織を行いました。スーパーデザイナー学科３年生が３グループに分かれて支援センターにてプレゼンを行い、ティンカーベルのメンバーの皆さんに審査いただき、コンペ形式でデザインを決定しました（図３、４）。

図３　支援センターでのデザインコンペの様子

図４　３グループの試織生地（左端を採用）とデザインコンセプト（川面と反射光）

採用された生地は、西脇市を流れる加古川・杉原川・野間川の川面にキラキラ反射する光の意匠で、西脇市の花であるシバザクラをイメージしたピンクのラメ糸を差し色に入れています。大阪文化服装学院の学生達が、ティンカーベルメンバーの採寸・仮縫い・本縫製まで行い、衣裳が完成しました（図５）。

なお、この生地は本年度のジャパンテキスタイルコンテストの学生部門グランプリ（最優秀賞）である「スプラウト賞」を受賞しました（全９４エントリー）。2022 年２月 17 日（木）～18 日（金）に一宮で開催されるヤーンフェアにて展示・表彰されます。

図５　完成したハンドベル演奏用衣裳

【製品ディスプレイ用生地（のれん）の試織（ビームス）】

大手セレクトショップ「ビームス」が、西脇市内の８事業者と連携し、「播州織」をテーマにした製品を開発しました。

消費者の好みやトレンドを熟知した同社のアドバイスで生み出されたバッグや洋服、帽子など 25 アイテムはどれも意欲的で、2021 年 10 月 27 日から 11 月 30 日まで東京・新宿のビームス本社で展示販売されました。（オンラインショップでは継続販売中）

ビームス本社での展示販売に伴い、製品ディスプレイ用（のれん）の生地の試織について株式会社ビームスから西脇市を通して支援センターに依頼があり、受託研究にてジャカード写真織の生地を試織しました。

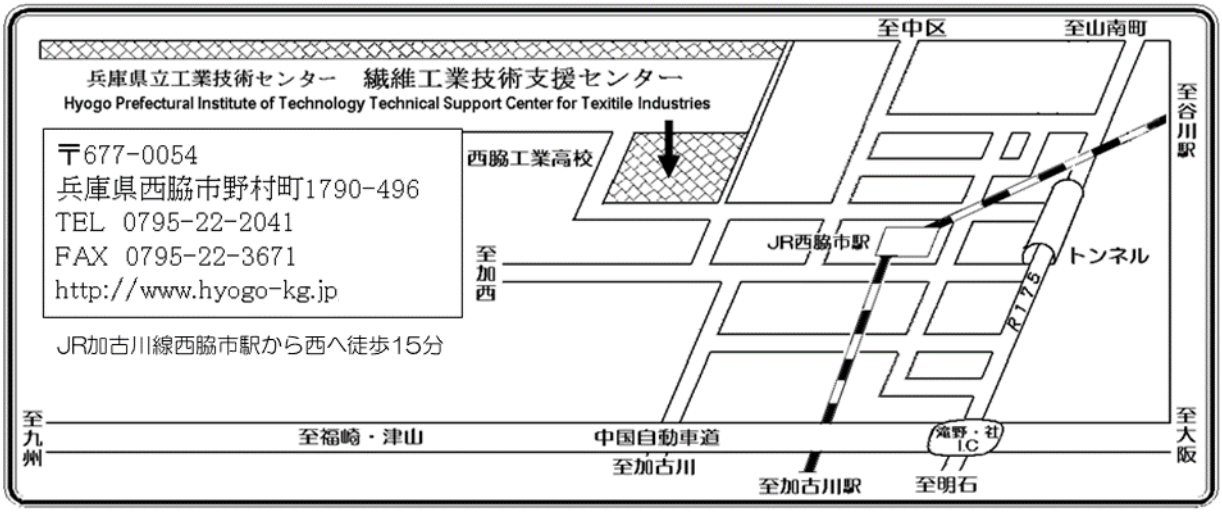
のれんをプリントでなく先染めとすることで播州織製品の PR に貢献しました（図６）。

図６　ビームス本社　播州織ブース

＜お知らせ＞

「2022ファッションフェア」を開催

主　催：学校法人　福冨学園　神戸ファッション専門学校
会　期：2022年1月29日（土）　1回目13:00～　2回目15:30～
会　場：神戸新聞松方ホール　（神戸市中央区東川崎町1-5-7神戸情報文化ビル4階）
内　容：神戸ファッション専門学校と繊維工業技術支援センターとの共同研究の取り組みで製作した生地を用い、1年生が仕立て上げた作品を披露します。仕上げ加工は播州織工業協同組合にご協力頂きました。今回は、水中できらめく「くらげ」と「あぶく」をコンセプトにデザイン意匠を作成しました。
新型コロナウイルス感染予防の観点から、今回も完全予約制での開催となります。申込は、神戸ファッション専門学校のホームページからお願いします。
※来場予約申込ページ　https://kfi.ac.jp/contact/fashionfair/

「卒業作品発表会2022」を開催

主　催：学校法人　ミクニ学園　大阪文化服装学院
会　期：2022年2月11日（金・祝）
ファッションショー　1回目14:30～　2回目17:30～
オリジナルショップ　10:00～18:00
会　場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪　3階イベントホール）
内　容：ファッションショーでは、トピックスでも紹介した大阪文化服装学院のスーパーデザイナー学科の学生たちの個人ブランドコレクションや、ポリモーダとのコラボレーションによる「児島デニムプロジェクト」、ファッションクリエイター学科のグループブランドコレクションやスタイリスト学科の学生たちによるスタイリングショーが開催されます。オリジナルショップでは、ファッションビジネス学科の学生たちによるショップや、ブランドマネージメント学科プロデューサーコースの学生たちによる個人ブランドエキシビジョンなどのイベントが開催されます。
ファッションショーおよびオリジナルショップへの入場は、WEB予約による時間指定入場制となります。下記アドレスより予約、QRチケット取得のうえ、当日ご来場ください。
※来場予約申込ページ　https://bit.ly/2022OIF